

特別支援教育だより

ほほ笑み便り

NO. 5

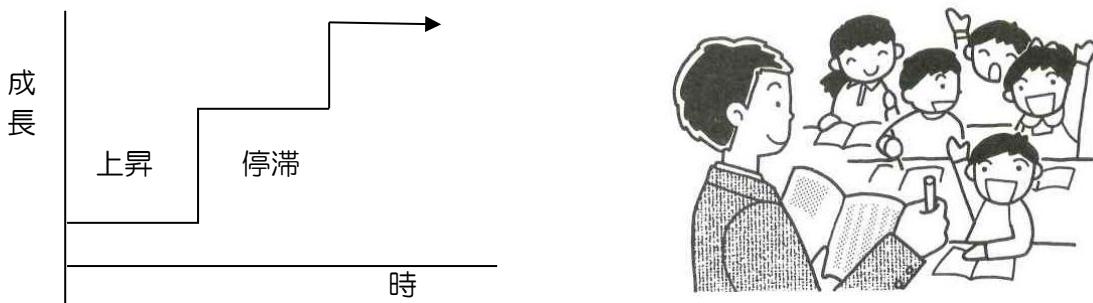


平成 31 年 2 月 25 日
杉並区立八成小学校
校内委員会

1 子供たちの成長について

2月ももうすぐ終わろうとしています。「子供の成長したところはどこだろう。」などと今年度を振り返る時期でもありますね。周囲の大人たちがいろいろな手立てを考えたり、一生懸命努力を続けたりしても「全く成長を感じない。」と、焦りの気持ちが出てくることもあると思います。

その一方で、突然、思いもよらない成長を見せて、できなかったことがある日、急にできるようになることがあります。子供の成長の仕方は、きれいな比例の直線を描くのではなく、しばらく停滞して、突然上昇し、そしてまたしばらく停滞して、また上昇を繰り返す、そのような経過のほうが多いのかもしれません。



すぐに効果が現れなくても、なかなか成長を感じられなくても、子供たちは見えないところでじっくりと力を蓄えています。そして、ある日突然開花することがあります。私たち大人が、結果や効果を追い求めすぎて焦ってしまうと、かえって子供を精神的に追い込んだり、やり方を誤ったりすることがあります。必要なときに必要な支援をしながらも、あとは成長を待つ姿勢、心の中で応援しながら見守る姿勢が時には大切になるでしょう。

また、大人の焦る気持ちが、子供にも伝わって気持ちを不安定にさせてしまうことがあります。子供はそれほど敏感であり、大人の様子に影響されやすいのです。私たち大人も、自身の行動や気持ちの状態を振り返ることができるようにしておきましょう。

気がかりなことがございましたら、各学級担任の他、下記のいずれかの窓口までご相談ください。

特別支援教育コーディネーター 5-1 担任 池田 03-3399-3138 (学校代表)

特別支援教育コーディネーター はちなり教室 担任 杉村 03-3399-3181 (はちなり教室直通)

スクールカウンセラー 浦山 03-3399-3160 (火曜のみ)

2 学習環境を整える

「子供が家で勉強に集中しなくて困っています。すぐに飽きちゃって…。」
そんな悩みを抱えている保護者の方はいませんか? ひょっとしたら、ちょっとした工夫でお子さんの集中力が高まるかもしれません。今回はご家庭でもできる工夫についてお伝えします。

小学生が集中して机上学習に取り組める時間は、約10~15分くらいだと言われています(個人差、学年による違いはあります)。しかし、環境面や興味・関心のもちせ方によっては、集中できる時間をもっと延ばせる可能性があります。

環境の調整

- ・椅子を、座り心地の良い高さに調整する。
- ・机上の整理をする(必要なものだけを出す)。
- ・おもちゃや漫画などは、視界に入らないところに片付ける。
- ・静かな環境作りをする(周囲も配慮をする)。



ルールの確認

- ・取り組む時間、範囲の確認をする。
(見通しをもたせる)
- ・毎日同じ時間帯に取り組む。
- ・学習中は、学習用具以外のものに触らないように約束する。

興味・関心を高める

- ・取り組み方を明確にする。
- ・難易度を調整する。
(難しすぎず、簡単すぎず)
- ・学習量を調整する。
(多すぎない)
- ・分からぬ問題は、すぐに相談できる環境を作る。

八成小学校でも、教室の前面にある掲示物をカーテンで隠すことで、視覚的な刺激を減らしたり、机といすの脚に消音キャップを付けることで、聴覚的な刺激を減らしたりしています。また、机上の整理をすることで、落ち着いて学習に取り組めるような環境作りをしています。

